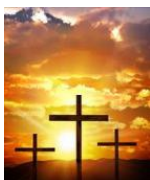


経時的に追ってみます。四つの福音書を見てみよう

十字架と復活



イースター礼拝 2015

そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」



イエスは大声で叫んで、言われた。「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」こう言って、息を引き取られた。



イエスを取り降ろして、亜麻布で包み、そして、まだだれをも葬ったことのない、岩に掘られた墓にイエスを納めた。
この日は準備の日で、もう安息日が始まるうとしていた。

マタ 27:57 夕方になって、アリマタヤの金持ちでヨセフという人が来た。彼もイエスの弟子になっていた。

この人はピラトのところに行って、イエスのからだの下げ渡しを願った。そこで、ピラトは、渡すように

命じた。】

アリマタヤのヨセフは、思い切ってピラトのところに行き、イエスのからだの下げ渡しを願った。ヨセフは有力な議員であり、みずからも神の国を待ち望んでいた人であった。

15:44 ピラトは、イエスがもう死んだのかと驚いて、百人隊長を呼び出し、イエスがすでに死んでしまったかどうかを問いただした。

15:45 そして、百人隊長からそうと確かめてから、イエスのからだをヨセフに与えた。

そこで、ヨセフは亜麻布を買い、イエスを取り降ろしてその亜麻布に包み、岩を掘って造った墓に納めた。墓の入口には石をころがしかけておいた。

マグダラのマリヤとヨセの母マリヤとは、イエスの納められる所をよく見ていた。

そのあとで、イエスの弟子ではあったがユダヤ人を恐れてそのことを隠していたアリマタヤのヨセフが、イエスのからだを取りかたづけたいとピラトに願った。それで、ピラトは許可を与えた。そこで彼は来て、イエスのからだを取り降ろした。

前に、夜イエスのところに来たニコデモも、没薬とアロエを混ぜ合わせたものをおよそ三十キログラムばかり持って、やって来た。



週の初めの日の明け方早く、女たちは、準備しておいた香料を持って墓に着いた。

見ると、石が墓からわきまにころがしてあった。入って見ると、主イエスのからだはなかった。

そのため女たちが途方にくれていると、見よ、まばゆいばかりの衣を着たふたりの人が、女たちの近くに来た。

恐ろしくなって、地面に顔を伏せていると、その人たちはこう言った。「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。」



ここにはおられません。よみがえられたのです。
まだガリラヤにおられたころ、お話しになったこと
を思い出さない。

人の子は必ず罪人らの手に引き渡され、十字架
につけられ、三日目によみがえらなければならない、
と言われたでしょう。

よみがえりの証拠 空になったお墓

- 1・もし、蘇(よみがえ)らなかったとすると、
屍体は誰が持っていったのだろうか？
- 2・もし、兵士や、ユダヤの王側のものなら…！
- 3・もし、祭司長たちなら……！
- 4・もし、弟子たちなら…誰も嘘のために殉教しない！
- 5・臆病な弟子たちの生き生きとした姿への変化！

この女たちは、マグダラのマリヤとヨハンナとヤコブの母マリヤとであった。
彼女たちといっしょにいたほかの女たちも、このことを使徒たちに話した。

24:11 **ところが使徒たちにはこの話はたわごとと思われたので、彼らは女たち
を信用しなかった。**

24:12 [しかしペテロは、立ち上がると走って墓へ行き、かがんでのぞき込ん

だところ、亜麻布だけが合った。それで、この出来事に驚いて家に帰った



しかしペテロは、立ち上がると走って墓へ行き、かがんでのぞき込んだところ、亜麻布だけが合った。それで、この出来事に驚いて家に帰った。

20:3 そこでペテロともうひとりの弟子は外に出て来て、墓のほうへ行った。

20:4 ふたりはいっしょに走ったが、もうひとりの弟子がペテロよりも速かったため、先に墓に着いた。

20:5 そして、からだをかがめてのぞき込み、亜麻布が置いてあるのを見たが、中に入らなかった。

20:6 シモン・ペテロも彼に続いて来て、墓に入り、亜麻布が置いてあって、

20:7 イエスの頭に巻かれていた布切れは、亜麻布といっしょにはなく、**離れた所に巻かれたままになっているのを見た。**

20:8 そのとき、先に墓に着いたもうひとりの弟子も入って来た。そして、見て、信じた。

20:9 彼らは、イエスが死人の中からよみがえらなければならないという聖書を、まだ理解していなかったのである。

その日、すなわち週の初めの日の夕方のことであった。弟子たちがいた所では、ユダヤ人を恐れて戸がしめてあったが、イエスが来られ、彼らの中に立って言われた。「平安があなたがたにあるように。」

20:20 こう言ってイエスは、その手とわき腹を彼らに示された。弟子たちは、主を見て喜んだ。

クレオパとその妻マリア 復活のイエスと出会

ルカ 24 ; 13 クレオパとその妻マリア 復活のイエスと出会



ちょうどこの日、ふたりの弟子が、エルサレムから11Km
余り離れたエマオという村に行く途中であった。

そして、ふたりでこのいっさいの出来事について話し合っ
ていた。話し合ったり、論じ合ったりしているうちに、
イエスご自身が近づいて、彼らとともに道を歩いておられた。
しかしふたりの目はさえぎられていて、

イエスだとはわからなかった。

イエスは彼らに言われた。「歩きながらふたりで話し合っている
その話は、何のことですか。」すると、ふたりは暗い顔つきに
なって、立ち止まった。

それで、彼らが、「いっしょにお泊まりください。そろそろ夕刻になります
し、日もおおかた傾きましたから」と言って無理に願ったので、イエスは
彼らといっしょに泊まるために中に入られた。

彼らとともに食卓に着かれると、イエスはパンを取って祝福し、裂いて
彼らに渡された。

それで、彼らの目が開かれ、イエスだとわかった。するとイエスは、彼ら
には見えなくなった。

そこでふたりは話し合った。

**「道々お話しになっている間も、
聖書を説明して下さった間も、
私たちの心はうちに燃えていたではないか。」**

